

第4号

九州身体障害者陸上競技協会

〒860-8518



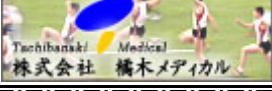
熊本市山室6丁目8-1 熊本機能病院内

e-mail : [info@9srk.jp](mailto:info@9srk.jp)

発行担当者:小川 敬

# 九障陸協便り

九州身体障害者陸上競技協会へご支援、協力を頂いているオフィシャルパートナーです。

	医療法人社団寿量会「熊本機能病院」様 URL : <a href="http://www.juryo.or.jp/">http://www.juryo.or.jp/</a>
	株式会社「イシヌキ」様 URL : <a href="http://www.k-expert.co.jp/ishinuki/syo2.htm">http://www.k-expert.co.jp/ishinuki/syo2.htm</a>
	株式会社「橋本メディカル」様 URL : <a href="http://www4.synapse.ne.jp/%7Etachibanaki/">http://www4.synapse.ne.jp/%7Etachibanaki/</a>

## ◆◆ 平成 21 年度 第 1 回理事会 ◆◆

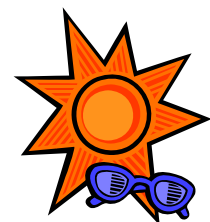


日時:平成21年6月13日(土曜日)12:00~15:00。場所:熊本県身体障がい者能力開発センター会議室において開催。

参加者: 吉松副会長(大分)、前田理事長・三雲理事(鹿児島)、小川副理事長・矢野理事(宮崎)、小手川副理事長(福岡)、渡辺理事・廣道理事(大分)、上与那原(沖縄県)、松永理事(長崎)、岩下理事(熊本)、事務局:山本、小野(WEB担当)。委任理事:伊東理事(長崎県)、松尾理事(佐賀県)、宇栄原(沖縄県)。欠席理事:副島理事(福岡県)、土井理事(佐賀県)。

議 題 (1) 平成 20 年度活動報告 (承認)

- ・① 第 1 回理事会 (平成 20 年 6 月 12 日、熊本県)
- ・② 第 2 回理事会 (平成 20 年 11 月 22 日、佐賀県)
- ・③ 第 1 回ワークショップ in 佐賀 (懇親会含む)
- ・④ 第 2 回ワークショップ in 熊本 (懇親会含む)
- ・⑤ 大分陸上 2008 大会
- ・⑥ 機関紙発行 (年度 3 回発行)
- ・⑦ HP 更新報告 (年間 65 項目新規掲載)
- ・⑧ 後援大会



(2) 平成 20 年度特別会計報告及び一般会計報告 (承認)

(3) 平成 20 年度監査報告 (承認)

(4) 平成 21 年度活動案 (承認)

- ・① 理事会年 2 回開催 (次回 11 月に宮崎県で開催)



・② ワークショップ開催

- 宮崎県での開催 11月後半開催予定
- 鹿児島県で講習会開催予定
- 熊本市にて

・③ 大分陸上2009の開催（開催済）

・④ 機関紙発行（年度3回）

・⑤ ホームページの更新（随時）

・⑥ 後援大会

（5）平成21年度予算案（承認）

（6）会員登録細則改正（承認）

その他

- ・日本身体障害者陸上競技連盟理事会報告
- ・登録現状について（国際選手、国内選手）
- ・会員及び賛助会員の登録の状況報告
- ・東京2009アジアユースパラゲームズ
- ・九州身体障害者陸上競技協会の発展について（財源の確保、福祉医療機構への申請等）
- ・その他（情報提供、お知らせなど）
- ・次回理事会開催日の検討、調整について

※ 第2回目の理事会は宮崎県のワークショップと連動して11月に開催する事が決議された。

## ★★ 大会報告 ★★

※ 各種大会・競技会について皆様からの情報がありましたら、ぜひ事務局までお知らせ下さい。

### 「第5回長野車いすマラソン大会」

大分県：吉松 時義

2009.04.24(日)に開催された第5回長野車いすマラソン大会（ハーフマラソン）に参加しましたので、大会全体について感じた事をお伝え致します。

スタート時の天候晴れ。気温16°C。風速0m。やや暑さは感じたが絶好のマラソン日和となり沿道の熱い声援を受け選手は激走。広道選手、花岡選手など日本のトップランナーや最高齢82歳のランナー徳島県の工藤金次郎選手を含む男女合計70名が出走、68名が完走し、全体として素晴らしいレースが繰り広げられた。

優勝は43分11秒（大会新）で地元長野県の樋口政幸選手、2位京都市の西原宏明選手、大分県の渡辺習輔選手が3位となり、優勝候補の広道純選手は5km過ぎのエムウエーブ内でパンクしリタイヤした。T52クラスは上与那原寛和選手（沖縄県）が見事に1位でゴールした。

私は、50分を切る目標をもって参加したが、残念ながら記録の達成は出来なかった。設定している年間目標を実現するために、これまで以上の内容のある練習をしなければならないことを学んだ。

日本のトップクラスの選手が参加し高レベルの戦いは大会を盛り上げます。今回、第5回大会で初めて地元長野県の選手が優勝したことにより大会は大いに盛り上がった。

これまで参加人員は60名であったが申し込み者が増えたこともあり、今年から出走枠70名となった。それだけ大会に魅力があることの証左であり、大会実行委員会、長野県、長野市、地元の方々、長野県選手のこの大会に懸ける思いの強さを感じます。

実行委員会、ボランティア、大会関係の皆様のご支援、ご配慮により、走ることに集中する事が出来ました。又ひとつ長野の楽しい思い出を記憶に積み重ねる事が出来ましたことに感謝いたします。

#### 「競技成績」 男子 T52

優勝 上与那原 寛和（沖縄県） 0:52:20

2位 高田 稔浩（福井県） 0:52:21

3位 八重沢 康成（新潟県） 1:14:53

すべての成績はHPよりどうぞ。



## 「4 DM大分陸上2009」

大分県：小野（Web担当）



会場：大分市営陸上競技場（大分県大分市）。日時：平成21年5月4日（祝）10:00～14:30。

開催種目／トラック競技（100m・200m・400m・800m・1500m・5000m）・フィールド競技（やり投げ・円盤投げ・走幅跳・三段跳・こん棒投・砲丸投）。

共催／九州身体障害者陸上競技協会・大分県。主管／大分陸上競技協会・大分陸上2009実行委員会。後援／17団体 協賛企業／25社 協力／5団体。

大会当日、前日からの雨で最悪のコンディションと心配しましたが、競技開始が近づくにつれて神がかり的に雨が止み、つつがなく競技を終えることが出来ました。軽快なBGMのもと、九州のラジオ番組等で活躍中『DJ,EIJI』氏の実況MCと、今回は怪我のため出場を断念した大会実行委員長の廣道選手（当協会）、山本氏（当協会）の選手の視点から観たわかりやすい解説により、観客席も飽きることなく楽しい雰囲気で行うことが出来ました。



ビギナー教室では九州の選手をはじめ、トップアスリートたちの指導のもと、障害を持つ子供と健常の子供が車いすレーサーを体験し、最後には100m走に挑戦しました。

今大会での日本記録更新はありませんでしたが、26もの自己新記録が生まれ（追い風参考含む）、東京2009アジアユースパラゲームズの選考レースとしてユース世代のエントリーもありました。また、初の試みとして、世界記録に対し最も記録の近い選手上位5名に対して表彰し栄誉を称えました。

今後も障害者陸上競技の普及と発展を目標とし、本大会の継続的な運営と選手育成に力を入れていきたいと考えております。協賛企業の皆様におかれましては、今大会へのご協力に感謝すると共に、今後ご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



## 「第19回仙台国際車いすハーフマラソン大会」福岡県：洞ノ上 浩太

5月10日、「杜の都」仙台で第19回仙台ハーフマラソン大会が開催された。正式に車いすの部ができてからは、4回目である。当然のごとく、日本陸上競技連盟公認コースである。当日は、昨年の肌寒い霧雨とは異なり、さわやかな五月晴れ（気温22度）となり、車いすレースの勝敗や記録に大きく影響する風もほとんど無く（南南東の風0.4メートル）、いわゆるレースにとっては、絶好のコンディションだった。



レースは、昨年の優勝者である山本浩之選手を中心に、廣道選手、樋口選手、小谷選手ら4名が、1km過ぎから第1集団を形成し、山本選手が何度となく仕掛けるものの、他の選手も必死に食いつき、集団が崩れる事無く、レースは進んだ。昨年、山本選手が仕掛け、その後一人旅になった7km過ぎの坂で、今年は山本選手が引き離され、続いて肩の不調が伝えられていた廣道選手も遅れだし、樋口選手と小谷選手の一騎打ちとなった。そ

の後2人の駆け引きが続き、15km地点では30分25秒と大会記録更新が期待できそうなハイペースでのレース展開となった。その矢先、16km地点のコーナーで、樋口選手がまさかの転倒。その後自力で起き上がりレースに復帰したが追いつくことはできず、小谷選手の初優勝となった。

一方、一般のランナーでは、ママさんランナーで注目の赤羽選手が初優勝を飾った。大会開催日は母の日という事もあり、表彰台では一際幸せそうな笑がこぼれていた。大会後は、ホテルへ移動しての懇親会で、すべてのランナーやレーサーが、お互いの走りやレースを振り返りながら、にぎやかに親睦を深めていた。大会運営においては、昨年同様、学生のボランティアが出場選手一人一人につき、選手がレースに集中できるよう、走り回ってサポートしていた。今回は、ソウルマラソンと日程が重なり、車いす選手の参加者が若干少なかった様にした。車いす選手の出場を歓迎し、今後出場者が増える事を望んでいると大会関係者が話していた。会員の皆さん、来年、チャレンジしてみませんか？  
[競技成績]男子 T53/54 のみ（詳細は大会 HP をご覧ください）

優勝 小谷謙二（兵庫県）0:43:49、2位 樋口政幸（長野県）0:44:57、3位 山本浩之（福岡県）0:47:25、4位 廣道純（大分県）0:48:10、5位 吉田高志（大阪府）0:49:00。

## 「ソウルマラソン」福岡県：洞ノ上 浩太

レース当日はとても良い天気にも恵まれて、最高のレース日和でした。

レースはスタートしてスローペースな展開でした。それでも5km付近の坂では、先頭集団エレンスト、クート、ホンソンマン、チョーク、副島、洞ノ上の6人に絞られました。エレンストがどの下り坂で仕掛けるてくるのか？クートがどの上り坂で仕掛けてくるのか？副島選手がどこで逃げにかかるのか？常にこの三人の動きに注意して走ってました。エレンストは、前半の下り坂で何度も仕掛けましたが、逃げるような感じではなく、ばらけさせろうという感じでした。なので集団は縦長になるだけでした。クートは、上りのたびに仕掛けてましたが、2~3m離されながらもなんとか喰らいついて



いくことがきました。こちらロングスパートではなかったので、集団はばらけず。副島選手も前半は、スローなペースに合わせる感じで、先頭に出てもペースを上げずに逃げる様子はありませんでした。

後半は下り坂の追い風で、かなりのハイペースで揺さぶられました・・・焦。たぶんこの時が一番のピンチでした・・・俺も何度か仕掛けましたが、エレンストとクートのカウンターにびびって、ロングスパートをしませんでした・・・結局、集団はばらけないまま、ラストのトラック勝負となりました。集団の最後尾でトラックに入り、一人もかわすことができずに6位でした。6位という結果は悔しいですが、最近はパンクなどが多く、一人旅が多かったので、今回はレースを楽しむことができました（^^）。レース後、クートから「お前はストロングだ！お前の走りはいつも挑戦的だ」って言われました。次会う時はもっとストロングになって挑みたいと思います。駆け引きがありしんどかったですが、レースってこんなに楽しいもんやったのか？って改めて思いました。次はもっと積極的に攻めていきたいです！選手の皆さんお疲れ様でした。大会関係者、ボランティアの方々お世話になりました。ありがとうございました。[競技成績]詳細は HP をご参照ください。

優勝 クート	1:29:49	4位 安岡チョーク	1:29:52
2位 ホンソンマン	1:29:50	5位 副島正純	1:29:52
3位 エレンスト	1:29:51	6位 洞ノ上浩太	1:29:52



## 「佐賀セラミックロード車いすマラソン 2009」 福岡県：洞ノ上 浩太

この大会は、いつもは10kmのロードレースですが、今回は20回記念大会だったので、ハーフマラソンでの開催でした。



レース当日は天気も良くて、暑くもなく寒くもない絶好のレース日和でした。午前11時にハーフの部がスタートしました。スタートしてすぐ先頭に立ち、一気にペースを上げ先頭集団を3人に絞りました。先頭集団は、いつも一緒に練習をしている、副島選手と山本選手と私の3人になりました。お互い手の内を知り尽くした仲です……。私は上りのコースを得意としているので、スタート直後から積極的に攻めました。一つ目の坂でペースを上げると、副島選手と二人になり

ました。

6.8km地点の折り返し手前の一番長い坂で、副島選手をなんとか振り切り独走となりました。後半は平坦なコースが続くので、私が勝つには、前半の登り坂で差を広げて、後半逃げきりのパターンしかないと考えていました。副島選手は、フルマラソンの日本記録保持者でもあるので、後半のスタミナには定評があります。なので最後まで、気を抜くことができませんでした。前半のアップダウンで35秒のリードをして、さらに後半の平坦なコースでも、35秒の差をつけることができたことは、とても自信になりました。坂が多くて、折り返しが5箇所もあるタフなコースで、自己記録を更新することが出来たのは、とても嬉しく思います。記念すべき20回目の大会で勝つことができてとても嬉しく思います。

大会関係者の方々、ボランティアの方々、応援してくれた皆さん、本当にありがとうございました。詳細は、佐賀セラミックロード車いすマラソン大会HPをご覧ください。(写真提供：洞ノ上選手)

### 【競技成績】

1位	洞ノ上 (福岡)	43 : 58
2位	副島 (福岡)	45 : 08
3位	山本 (福岡)	46 : 38
4位	渡辺 (大分)	50 : 25
5位	坂元 (大分)	51 : 01
6位	佐矢野 (大分)	51 : 01



## 「大分県実業団ナイター陸上競技大会」 福岡県：洞ノ上 浩太

この大会は、大分県実業団連合主催の陸上・中距離記録会で、そこに車いす1500mレースを加えていただいています。たくさんの方たちに、車いすレースの迫力を伝えるのには絶好の機会でした。

開催された大分市営陸上競技場は、高速トラック（硬い）なので、日本記録更新の期待も高まりましたが、当日は強風だったためタイムは伸びませんでした。スタートしてすぐに、小谷選手が、積極的な走りで先頭にたち、レースを引っ張りました。続いて副島、洞ノ上、花岡、廣道・・・の順でしたが、私はついていくのがやっとでした。強風の為、途中スローペースになりましたが、先頭に出る元気はありませんでした。

ラスト一周で鐘が鳴り、2レーンから山本選手があがってきて、それに廣道選手が続き、なんとかその後ろを取ることが出来ました。残り200mで3レーンから抜きにいきましたが、先頭を奪うことが

できず 2 着でした。得意ではない 1500m で、しかもこのメンバーの中での 2 位は、次に繋がる結果だと思えます。

日本国内で、このような豪華メンバーでレースが出来ることは、本当に幸せなことだと感じました。これからも迫力あるレースをしていきたいと思えます。

大会関係者の方々どうもありがとうございました。

選手の皆さんお疲れ様でした。

- 1 位 廣道純 : 3'13"27
- 2 位 洞ノ上浩太 : 3'13"59
- 3 位 山本浩之 : 3'13"67
- 4 位 樋口政幸 : 3'13"98
- 5 位 松永仁志 : 3'14"95
- 6 位 副島正純 : 3'16"31



## 「2009 はまなす全国車いすマラソン大会」 (20 回記念大会)

今回の「20 回記念 2009 はまなす車いすマラソン大会」は曇りで強風だったようですが、九州勢が 1・2 位と素晴らしい成績を収めました。参加数：4 種目 9 4 名。大会の特徴：北海道国体を記に公開競技として車いすマラソンが行われた。札幌のメインどおりである大通り公園を折り返すとする大会。今回は入賞しましたお二人から大会の報告・感想を送って頂きましたのでご紹介致します。

### 福岡県： 洞ノ上 選手 (T 5 4) 優勝

当日は、今にも雨が降りそうな天気でしたが、なんとかもってくれました。そのかわりメチャクチャ風が強かったです…(涙)。

レース展開は、スタートしてすぐの公園内で仕掛けたら、先頭集団は上位 5 人に。公園を出て集団を引いてましたが、ちょっと疲れたのでローテーションを求めました。しかし誰も出る様子がなかったので、マイペースで集団を引っ張り坂の上まで……。頂上からの下りで山本選手が先頭に出てペースが上がり、後続がいなくなり先頭は山本選手と俺の二人になり、少し遅れて花岡選手と樋口選手でした。その後、車道からもう一度公園内に入るところで、コースアウトをしてしまいました。

コースアウトをしてる間に、花岡選手と樋口選手に抜かれてしまいましたが、その二人になんとか追いつき、ローテーションをしながら先頭を追いかけました。気がつけば花岡選手が切れてて、樋口選手と二人になってました。

先頭との距離は 300m~400m。後半はずっと上り坂なので、焦りはありませんでしたが、長い下り坂も手伝い、なかなか追いつかず、24km 地点でやっと追いつきました。先頭集団が三人になり、駆け引きが入りペースが落ちました。

その後、このコースの一番傾斜のきつい所で仕掛けました。二人と少し差が開いたので、一気に上げてそこからは一人旅となりました。頂上手前で折り返しがあるので、そこで後続の選手との差を確認しました。下りに入り調子よく走ってたら、右足ふとももが攣ってしまい、漕いだり漕がなかったりでゴールしました……。なんとか上りでの貯金があったので助かりました。今回はコースアウトしたのに勝ってラッキーでした。コースアウトした時に先頭集団が 4 人だったら、後半に上り坂がなかったら、soe さんが来てたら……。 (笑) などなど。まあでも結果オーライです。次、気をつけます！

## 福岡県：山本 選手（T54）2位

今年は記念大会と言うことで、大会前日にジュニア教室があり。その講師として洞ノ上選手と一緒に呼ばれました。

ジュニアの皆さんに私達の話喜んで聞いていただき、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

そして、大会当日の天気予報は雨。6月に入ってからは雨の降らない日は無かったそうです。当日の早朝は少し雨も残ってましたが、レース開始にはすっかり雨も上がり。曇り空で走り易そうな気温でした。

しかし例年に無いほどのかなりの強風で、札幌市内までが追い風となっていたので、ハーフマラソンでは大会新記録も出ました。フルマラソンでもハーフまでのコースは同じで、一番きつい下りでは今までで最高の57キロ。川沿いのコースでも追い風が強く、40キロほどのスピードで走れ、折り返しまでは気持ちよく走れましたが、折り返してからは上りの向かい風に苦しめられて、洞ノ上・樋口選手にも追いつかれ、きついレースとなりました。

途中から二人にも切られましたが、何とか樋口選手だけは捕らえ、はまなす大会自己最高の2位を獲得できたことは素直に嬉しかったです。はまなす大会は国内ではアップダウンが激しいコースですが、ここを走れば他の大会が楽に感じますよ。

カニも美味しいですし、是非みなさん走ってみませんか(\*^o^\*)

[競技成績]男子 T53/54

1位 洞ノ上浩太（福岡） 1:35:48

2位 山本浩之（福岡） 1:36:54

（洞ノ上選手、山本浩選手、大会報告のご提供、ご協力本当にありがとうございます。）



## 「第14回関東身体障害者陸上競技選手権大会」



平成21年7月5日、東京都町田市立陸上競技場で、関東身体障害者陸上競技選手権大会が開催され、全国各地から約130名の選手が出場した。当日は、梅雨の時期でもあり、悪天候が懸念されたが、幸い競技中は雨が降る事も無く、強風も無く始終曇り空で、7月にしてはまずまずの大会コンディションだった。結果として、大会記録はもちろんの事、日本記録が続出した。特筆すべきは、立位の選手で、昨年の北京パラリンピック大会で5000mに出場した堀越選手が、約30秒も日本記録を更新したことである。トラックは、抵抗も少なく好記録が期待できる条件の競技場だったが、残念ながら車いすの競技は振るわなかった。来年は、記録更新を狙って、より多くの選手に出場して欲しい。



今回は、今年9月11～13日に開催される「東京2009アジアユースパラゲームス」の陸上競技に参加する日本選手団が、合宿を実施した後、本大会に臨んだ。合宿の疲れが少し見受けられたが、それぞれの種目に果敢にチャレンジしていた。また、ジュニアのトラック競技会も同時開催され、チビッコアスリートも多く参加しており、将来の日本を背負う選手が、この中から生まれると思うと、楽しく観戦できる大会でもあった。

## ★★ 行事予定 ★★ (大会・競技会の予定)

- (1) 「第24回釧路湿原全国車いすマラソン大会」/日時：平成21年8月30日(日)  
申込締切：7月17日(金)【必着】希望者は直接大会事務局へ(TEL：0154-24-7471)。
- (2) 「第21回鳥取マラソン大会」/日時：平成21年9月12、13日(日)  
申込締切：7月31日(金)まで【必着】(詳細は別紙を参照のこと)。
- (3) 「福岡シティマラソン」：「福岡 YAHOO! JAPAN ドーム」/ 日時：11月3日(祝日)  
申込締切：9月1日(火)【必着】(詳細は別紙を参照のこと)。
- (4) 「第21回全国車いすマラソン大会」/ 日時：9月27日(日)。場所：兵庫県篠山市。  
申込締切：8月7日(金)(問合せ先：兵庫県障害者スポーツ協会、TEL：078-341-7711)
- (5) 2009 ジャパンパラリンピック陸上競技選手権大会権日本身体障害者陸上競技選手権大会  
日時：平成21年9月22日(火)会場：大阪市長居陸上競技場(詳細は届き次第HPへ)

## ★★ 協会からのお知らせ ★★

### 賛助会員を募集中!

本協会の活動に賛同し、その事業を援助する個人、法人または団体が対象です。

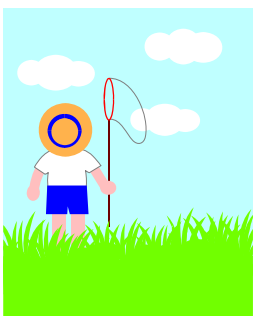
協会が関係する、行事・イベント等に参加し活動の支援、活動資金の提供、記事情報の提供、また専門性を生かした講義・講習など、様々な方法でお手伝いいただけます。もちろん各地域での活動もOK! 入会いただいた団体・個人には、この機関紙が送付されます!

賛助会員は、各県協会を通して、あるいは直接本協会に、次の会費を納めます。

- (1) 法人・団体 年1口～(1口5,000円)上限なし
- (2) 個人 年1口～(1口1,000円)上限なし
- (3) オフィシャルパートナー 当協会のホームページへのバナー広告等

※詳しくは事務局までご連絡下さい。

## 【編集後記】



いよいよ夏本番!!! この夏、合宿などを計画している方も、多いと思います。トラック&フィールド競技では、競技場を借りるのに一苦労です。平日は比較的空いていますが、休日・祝日は予約が多くて確保するのが難しいですね。特に夏休み中は、学生や学童の利用も増えます。平日に練習できる環境があると良いのですが...。また、ロード練習は別な意味で大変です。遊歩道やサイクリングロードなどが、安全で良いのですが、郊外まで行く必要が出てきたり、さらに車いす競技の場合は、路面が荒れているとパンクの可能性もでてきます。

おそらく、どの地域でも同じ悩みがあると思います。そこで、各県の練習場所を紹介できたらいいなあと、考えています。お勧めの練習コース・施設など是非お知らせください。だいたい場所(住所)とコースや設備状況の説明、それに写真(携帯電話の写真でOK)などでグッド!です。ホームページや機関紙に掲載したいと思います。多くの情報をお待ちしています。(e-mail: info@9srk.jp)



払込取扱票

通常払込料金  
加入者負担

振替払込請求書兼受領証

02	口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
0	1	7	6	0	6	1	2	0	3	3	6									
加入者名 九州身体障害者陸上競技協会											料金	備考								

口座記号番号	0	1	7	6	0	6	通常払込 料金加入 者負担	
加入者名	九州身体障害者陸上競技協会							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おなまえ							
料金	備考		日 附 印					

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

通信欄・ご依頼人

干※  
おとこ※  
おなまえ※

(ご連絡先電話番号)

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)  
これより下部には何も記入しないでください。

様

日 附 印	
-------	--

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。  
切り取らないでお出しく下さい。

この受領証は、大切に保管してください。

切り取り線